



白萩

学校だより「しらはぎ」

令和8年 7月号

あきる野市立増戸中学校

編集：副校長 鈴木信成

夏休み：「微差は大差」

校長 脇 本 達 也

夏の陽射しが強まり、1学期も最終盤を迎えました。これから夏本番、そして夏休みを迎えます。夏休みに向けて、生徒の皆さんには「微差は大差」という言葉を意識してほしいと思っています。これは昨年度の1学期終業式で話したので、2・3年生は覚えていると思います。私の一番好きな言葉なので、今年も紹介します。

「微差」とは、ほんのわずかな違いです。家庭学習で、あと少しだけ問題に取り組んでみる。部活動で、あと1回頑張ってみるなど、周囲からは気づかれないほどの小さな差ですが、これを積み重ねると、やがて大きな差となって現れます。

例えば、1日10分の学習時間の差を考えてみましょう。たったの10分ですが、この10分を毎日続けると、 $10\text{分} \times 365\text{日} = 3650\text{分}$ （約60時間）となります。1年後には、丸々2～3日分の学習時間に相当する差が生まれるのです。これが「微差は大差」です。毎日のわずかな積み重ねが、未来の自分を大きく変えてくれるかもしれません。

夏休みは生活のリズムが乱れやすく、気持ちが緩みがちな時期だからこそ、「微差」を大切にしてほしいと思います。毎日少し早く起きる、宿題を少しずつ進める、部活動であと一歩だけ踏ん張る。そうした小さな積み重ねが、大きな成長につながります。暑さに負けず、充実した夏休みを過ごしてください。

【保護者の皆様】

7月10日（金）に、全学年保護者会がありました。全体会のあいさつで、次の3つのことをお話しさせていただきました。

- 1 体育大会では、生徒が最後まで一生懸命頑張り抜く姿に感動しました。3年生は引き続き卒業まで全力で駆け抜けてほしいです。来年度に向けて、生徒の安全面や健康面への配慮について、検討してまいります。
- 2 夏休みのエアコンが無い環境下での生徒の活動時間を、10時までか、16時からにします。その時間帯でも、WBGTが運動禁止の値を示した場合は、活動を中止し、エアコンが効いている室内等、安全な場所で活動します。また、下校時の安全面にも配慮して、活動後はすぐに下校させず、校舎内の涼しい部屋で、身体を十分にクーリングダウンしてから下校させます。
- 3 夏休みになりますと、三者面談が予定されております。増戸中学校では、生徒や保護者の方のお話に「傾聴」することを基本方針としています。ぜひこの機会に御相談ください。また、1学期の通知表の所見は、面談に変えさせていただいておりますので、所見の記載はありません。学校の様子など、面談の場でお伝えさせていただきます。

2学期になると、1年生は福祉体験学習、2年生は職場体験学習、3年生は京都・奈良の修学旅行があります。「合唱コンクール」も楽しみです。1学期の本校の教育活動への御理解と御協力、ありがとうございました。2学期もよろしくお願いいたします。